

平成25年度

| | | | |
|------------------------------|--|---|-----|
| 教科・科目名 科学年系コース | 国語総合(講読)普通科1年 | 授業時間数/週 | 3時間 |
| 授業の目標 | 読む・書く・聞く・話すの4技能を身に付け、国語に関する能力や態度を養う。中学校の国語の学習を踏まえ、より高度な読解力・表現力・言語力を修得させる。 | | |
| 授業内容の方法 | 毎回、授業で、漢字の小テストを実施する。「漢字ベーシック」のテキストより、口頭で6問出題し、専用のノートに解答を書かせる。教科書・学習課題ノートを使用しながら、学習を進めていく。 | | |
| 評価方法について | 試験 80点 評点20点(うち5点は、表現分) | | |
| 使用テキスト 教科書 副教材 | 高等学校 国語総合 明治書院 高等学校 国語総合 学習課題ノート 明治書院 新国語便覧 第一学習社 新国語便覧準拠ノート 第一学習社 漢字ベーシック 明治書院 読書ノート | | |
| 年間授業計画 | 前期 4月 現代文 水の東西 5月 古文 古文を読むために 5月 古文 かぐや姫の生ひ立ち 5月6月 現代文 羅生門 6月 漢文入門 (格言・成句) 7月 漢文 故事 蛇足 | 後期 9月 漢文 蛇足 10月 詩歌 螿のうへ 11月 古文 土佐日記 11月 干支 月の異称 11月12月 現代文 日常性の壁 1月 古文 奥の細道 旅立ち 1月 書写検定説明 書写検定実施 1月2月 漢詩説明 2月 唐詩 春暁 元二の安西に使ひするを送る 2月3月 漢文 論語 学問(学而) 人間(子路) 弟子(先進) | |

平成25年度 国語総合 普通科1年 年間学習計画

| 学期 月 配当時間 | 単元 項目 学習内容 | 学習のねらい ポイント | 学習活動 (評価方法) |
|---------------------------|---|--|---|
| 前期 4月 配当時間 8時間 | ・国語総合 オリエンテーション ・評論「水の東西」 | ・高校国語を学ぶ基本姿勢を身に付けさせる。 ・評論文の読み解き方について理解させる。 | ・国語ノートの取り方、漢字テストについて理解する。 ・水について欧米文化と日本文化の比較を通し、考え方の違いを知る。 (学習課題ノート) (小テスト)漢字毎時間 (前期試験) |
| 5月 配当時間 9時間 | ・古文 古文を読むために ・古文 かぐや姫の生ひ立ち ・現代文 羅生門 | ・古文に親しみを持たせ、話の面白さを理解させる。歴史的仮名遣い、文語と口語の違いを理解させる。 ・登場人物の性格・心理・行動を的確に読み取る能力を養う。 | ・古文に親しみを持つ。また歴史的仮名遣い、文語と口語の違いを理解する。 ・小説の基本的な読解方法を習得する。登場人物の性格・心理・行動を的確に読み取る。 (学習課題ノート) (小テスト)漢字毎時間 (前期試験) |
| 6月 配当時間 12時間 | ・現代文 羅生門 ・漢文入門 (格言・成句) | ・登場人物の性格や心理を読み取り、他の物語へ関心を広げさせる。また、作品世界をつかみ、作品に込められた作者の思いを理解させる。 ・漢文を勉強するにあたり、親しみと興味を持たせる。 | ・羅生門の鮮烈な情景描写・心理描写・筋書きを理解する。 ・漢文の訓読法に慣れ、今後の漢文学習の基礎を固める。 (学習課題ノート) (小テスト)漢字毎時間 (前期試験) |
| 7月 配当時間 9時間 | ・漢文 故事 蛇足 | ・短い文章を読み、漢文特有の形式や表現を理解させる。 ・書き下し文を書く作業などを通して漢文の基礎を固めることを目的とする。 | ・蛇足という言葉の出典を知る。また漢文への苦手意識を無くす。 (学習課題ノート) (小テスト)漢字毎時間 (前期試験) |
| 9月 配当時間 9時間 | ・漢文 故事 蛇足 | ・短い文章を読み、漢文特有の形式や表現を理解させる。 ・漢文への苦手意識を無くさせる。 | ・文法など今後の漢文学習のための基礎を作る。 (学習課題ノート) (小テスト)漢字毎時間 (後期中間試験) |
| 後期 10月 配当時間 13時間 | ・詩歌 蟹のうへ | ・三好達治の人と作品について必要な知識を学習させる。 ・詩の朗読を工夫し、それぞれの詩のリズムとイメージを喚起させ味わう。 ・内容や構成や表現や主題などについて理解させ、根拠のある鑑賞の仕方を身につけさせる。 | ・音読してリズム感を味わう。リズム感が音数や連用中止法にあることを確かめる。 ・二部構成を確認し、どのような情景が展開されているかを把握する。 (学習課題ノート) (小テスト)漢字毎時間 (後期中間試験) |

| | | | |
|------------------------------|--|---|---|
| <p>11月 配当時間 10時間</p> | <ul style="list-style-type: none"> 古文 土佐日記 干支 月の異称 現代文 日常性の壁 | <ul style="list-style-type: none"> 登場人物の性格や心理を読み取り、他の物語へ関心を広げ、文法の基礎的事項を整理する。 重要古語の意味・用法を確認させる。 | <ul style="list-style-type: none"> 作者がどのような立場で書いているかを理解する。女性に仮託しているのか考えさせる。 現代語訳をして段落ごとに内容を確認する。 (学習課題ノート) (小テスト)漢字毎時間 (後期中間試験) |
| <p>12月 配当時間 8時間</p> | <ul style="list-style-type: none"> 現代文 日常性の壁 | <ul style="list-style-type: none"> 言葉の意味や指示語の内容、接続詞の働き等を正しくつかみ、論の展開や構成を踏まえながら、筆者の問題意識や主張を理解させる。 | <ul style="list-style-type: none"> 蛇に対する生理的な感覚を想起させる。 全文を通し読みして評論文の論理展開を確認する。 わかりにくい表現や語句をチェックする。 (学習課題ノート) (小テスト)漢字毎時間 (後期期末試験) |
| <p>1月 配当時間 12時間</p> | <ul style="list-style-type: none"> 古文 奥の細道 旅立ち 書写検定説明 書写検定実施 漢詩説明 | <ul style="list-style-type: none"> 繰り返し音読をすることによって省略や対句、あるいは漢詩文の引用を多用した、俳文に特徴的な文体に慣れるようにする。必要なところは語句を補ったり、陰陽された古典を解説するなどして、理解を深めるよう配慮し、文意を正確に読み取るよう指導する。 | <ul style="list-style-type: none"> 俳諧の歴史・作者・作品について学ぶ。 古典の陰陽に注意しながら現代語訳する。 作者の旅に対する考え方や旅立ちに際しての心境を本文に即してまとめる。 (学習課題ノート) (小テスト)漢字毎時間 (後期期末試験) |
| <p>2月 配当時間 9時間</p> | <ul style="list-style-type: none"> 漢文 唐詩 春曉 漢文 元二の安西に使ひするを送る 漢文 論語 学問(学而) 人間(子路) 弟子(先進) | <ul style="list-style-type: none"> 音読を重視し、詩の表現の特徴を理解させる。人間に対する認識を深め、自然に対するとらえ方を考える契機とする。 詩形や押韻等の基礎知識を繰り返し整理し、正確に把握させる。 | <ul style="list-style-type: none"> 漢詩の決まりについて理解する。 唐代の文化について理解する。 優れた表現を指摘し、作者の心情を考える。 詩形や押韻について確認する。 (学習課題ノート) (小テスト)漢字毎時間 (後期期末試験) |
| <p>3月 配当時間 4時間</p> | <ul style="list-style-type: none"> 漢文 論語 学問(学而) 人間(子路) 弟子(先進) | <ul style="list-style-type: none"> 孔子と「論語」の概略、「春秋時代」の概略を理解させる。 漢文の訓読に習熟させる。訓点のついている漢文を正確に書き下し文にさせる。 孔子の学問観を理解させる。 | <ul style="list-style-type: none"> 孔子の学問に対する喜びや愉しみや態度や意義を読み取る。 取り組みやすい簡潔な表現を確実に理解し、繰り返し音読することにより、対話的表現の特徴を理解する。 (学習課題ノート) (小テスト)漢字毎時間 (後期期末試験) |

平成25年度

| | | | |
|------------------------------|---|--|-----|
| 教科・科目名 科学年系コース | 国語総合(表現)普通科1年 | 授業時間数/週 | 1時間 |
| 授業の目標 | 読む・書く・聞く・話すの4技能を身に付け、国語に関する能力や態度を養う。中学校の国語の学習を踏まえ、より高度な読解力・表現力・言語力を修得させる。 | | |
| 授業内容の方法 | 講読で使用している教科書と便覧を用いて、表現専用のノートにまとめる。単元によっては教科書や便覧に詳しい記載がないものもあるので、プリントを用いて詳しい説明をする。また、調べたものや作成したものについて各人が発表を行い、それに対して生徒同士で相互評価をする。プリントの問題も生徒が解いた答えを発表し合い、どこが間違いやすいのかを考えさせる。 | | |
| 評価方法について | 試験 80点(うち表現の配分あり) 評点20点(うち5点は、表現分) | | |
| 使用テキスト 教科書 副教材 | 高等学校 国語総合 明治書院 新国語便覧 第一学習社 単元に合わせたプリントを適宜配布 | | |
| 年間授業計画 | 前期 4月5月 原稿用紙の書き方 5月 手紙の書き方(一般的な手紙の書き方と近況報告の書き方を比較する) 6月 話し言葉と書き言葉の違い 7月 本の紹介(紹介カード・紹介文・POPの作成) | 後期 9月 本の紹介(紹介カード・紹介文・POPの作成) 10月11月 本の紹介(紹介文とPOPの発表会) 12月～3月 品詞について ・文章と文節と単語の見分け方 ・品詞とはなにか ・名詞の説明(名詞の種類) ・動詞の説明(活用の種類・活用形) ・形容詞の説明(活用の種類・活用形) ・形容動詞の説明(活用の種類・活用形) ・動詞と形容詞と形容動詞の見分け方(短文を用いて考えさせる) ・副詞の説明(状態の副詞・程度の副詞・副詞の呼応) | |

平成25年度 国語総合(表現) 普通科 1年 年間学習計画

| 学期 月 配当時間 | 単元 項目 学習内容 | 学習のねらい ポイント | 学習活動 (評価方法) |
|--------------------------|--|--|---|
| 前期 4月 配当時間 3時間 | ・原稿用紙の書き方 | ・原稿用紙の学習を通じて、自分の意思を効率よく伝える技術を養う。 ・簡単な文章を書く作業を通じて、わかりやすい文章を各技術の習得を目指す。 | ・原稿用紙の使い方、句読点や記号の使い方のルールを知る。 ・文法的に正しい文を書き、それを文法的に正しくつなげるようにする。 ・論理的な文章が書けるようにする。 (前期試験) |
| 5月 配当時間 3時間 | ・原稿用紙の書き方 ・手紙の書き方(一般的な手紙の書き方と近況報告の書き方を比較する) | ・原稿用紙の学習を通じて、自分の意思を効率よく伝える技術を養う。 ・簡単な文章を書く作業を通じて、わかりやすい文章を各技術の習得を目指す。 ・手紙に関する基本的な知識を身に着ける。 ・相手や目的に応じて言葉遣いなどを工夫して書く態度を身に着けさせる。 | ・近況報告を作成するにあたり、手紙の書き方、近況報告の書き方をを学習する。 ・わかりやすい文章の書き方を学習する。 (前期試験) |
| 6月 配当時間 3時間 | ・話し言葉と書き言葉の違い | ・書き言葉と話し言葉の違いを理解する。 | ・話し言葉と書き言葉の違いを明確にし、自身のアウトプットする能力を養う。 (前期試験) |
| 7月 配当時間 3時間 | ・本の紹介(紹介カード・紹介文・POPの作成) | ・朝読書で読んでいる本を授業でクラスメイトに発表するために、資料を用意または作成させる。 | ・本の情報収集や分析をすることで知識を深める。 ・構想メモをもとに全体の構成を考え、より効果的に表現できるよう意識づける。 (前期試験) |
| 9月 配当時間 3時間 | ・本の紹介(紹介カード・紹介文・POPの作成) | ・朝読書で読んでいる本を授業でクラスメイトに発表するために、資料を用意または作成させる。 | ・本の情報収集や分析をすることで知識を深める。 ・構想メモをもとに全体の構成を考え、より効果的に表現できるよう意識づける。 (後期中間試験) |
| 後期 10月 配当時間 3時間 | ・本の紹介(紹介文とPOPの発表会) | ・朝読書で読んでいる本を授業でクラスメイトに対して発表させる。 ・作品を紹介するにあたり、プレゼンテーションの構成や展開を学習する。 ・プリントを配布し、クラスメイトの発表を聞き、一言コメントを記入させる。 | ・自分が作成したものをクラスメイトにプレゼンテーションすることで、自身の表現力を高める。 ・評価プリントにプレゼンテーションされた本の一言コメントを記入することにより、主観性や客観性に気付く。 (後期中間試験) |

| | | | |
|--------------------|---|--|---|
| 11月 配当時間 3時間 | <ul style="list-style-type: none"> 本の紹介(紹介文とPOPの発表会) | <ul style="list-style-type: none"> 朝読書で読んでいる本を授業でクラスメイトに対して発表させる。 作品を紹介するにあたり、プレゼンテーションの構成や展開を学習する。 プリントを配布し、クラスメイトの発表を聞き、一言コメントを記入させる。 | <ul style="list-style-type: none"> 自分が作成したものをクラスメイトにプレゼンテーションすることで、自身の表現力を高める。 評価プリントにプレゼンテーションされた本の一言コメントを記入することにより、主観性や客観性に気付く。(後期中間試験) |
| 12月 配当時間 3時間 | <ul style="list-style-type: none"> 品詞について 文章と文節と単語の見分け方 品詞とはなにか | <ul style="list-style-type: none"> 文の基本構造を学習し、品詞に対して理解を深めさせる。 品詞を学習することにより、生徒の表現力を養う。 | <ul style="list-style-type: none"> 文の構成や展開、表現の特徴について考える。 単語の種別について理解する。 主語述語等の品詞を理解する。(後期期末試験) |
| 1月 配当時間 3時間 | <ul style="list-style-type: none"> 品詞について 名詞の説明(名詞の種類) 動詞の説明(活用の種類・活用形) | <ul style="list-style-type: none"> 名詞の説明や動詞の説明を行う。中学で学習した活用等を復習する。 適切な表現が出来るようにさせる。 | <ul style="list-style-type: none"> 名詞や動詞を学習し適切に文章や言葉として表現する力を身に着ける。(後期期末試験) |
| 2月 配当時間 4時間 | <ul style="list-style-type: none"> 品詞について 形容詞の説明(活用の種類・活用形) 形容動詞の説明(活用の種類・活用形) | <ul style="list-style-type: none"> 形容詞、形容動詞の学習をする。 形容詞、形容動詞を正確に用いて、適切な表現で文章を作成できるようにさせる。 | <ul style="list-style-type: none"> 形容詞や形容動詞を学習し、適切に文章や言葉として表現する力を身に着ける。(後期期末試験) |
| 3月 配当時間 4時間 | <ul style="list-style-type: none"> 品詞について 動詞と形容詞と形容動詞の見分け方(短文を用いて考えさせる) 副詞の説明(状態の副詞・程度の副詞・副詞の呼応) | <ul style="list-style-type: none"> 副詞を学習し、それを正確に用いて適切な表現で文章を作成できるようにさせる。 | <ul style="list-style-type: none"> 副詞を理解し、適切に文章や言葉として表現する力を身に着ける。(後期期末試験) |